

## なでしこリーグでの熱中症対策に協力（2022年度）

暮らしお（塩と暮らしを結ぶ運動）では、2022年度も、女子サッカーのなでしこリーグのファン・サポーターへの熱中症対策に協力しました。

なでしこリーグ1部の日体大SMG横浜（2022シーズンより、クラブ名を「日体大FIELDS横浜」から変更。暮らしお協力団体）では、ファン・サポーターの方々の熱中症予防に取り組んでおり、例えば2022年6月4日には、試合前に、「熱中症対策デー」として、熱中症対策啓発のイベントを開催しています。

2022年6月18日には、横浜市のニッパツ三ツ沢球技場にて、セレッソ大阪堺レディースとの試合が行われ、また試合前には、「SMGミライ応援プロジェクト」という女子小学生を対象としたサッカー大会も開催されました。

当日は、「SMGミライ応援プロジェクト」の参加者、また試合の応援に来られた皆様に、暮らしおの塩飴やウチワを配布しました。

前節の6月4日にも熱中症対策の啓発を行っていたため、連続してご来場いただいた方々は特に、熱中症対策への意識も高まっており、塩飴やウチワを大変喜んでいただき、活用いただきながら観戦・応援していただきました。なお、試合は2-1で日体大SMG横浜が勝利しています。



## なでしこリーグでの熱中症対策に協力（2020年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、女子サッカーのなでしこリーグのファン・サポーターへの熱中症対策に協力しました。

なでしこリーグ 2部の日体大FIELDS横浜（塩と暮らしを結ぶ運動協力団体）では、リーグ開幕が4か月遅れの7月となり、厳戒態勢が続く中で、「誰もが楽しめるスタジアム」から、「誰もが楽しめる応援スタイル」へと目指す環境をシフトし、新型コロナウイルスと熱中症のダブル対策に取り組んでいます。

来場されるファン・サポーターの方々には、新型コロナウイルス対策としては、入場者数を制限した上で、マスクの着用や、3密を避けての観戦をお願いしています。また熱中症対策としては、ポスターを掲示して注意を呼びかけるとともに、ウォーターサーバーの設置や、ウチワ、塩と暮らしを結ぶ運動の塩飴の配布を行っています。

これらの対策は、新型コロナウイルスの流行下でもスタジアムにお越しいただける熱心なファン・サポーターの方々に、大変好評をいただいています。

